

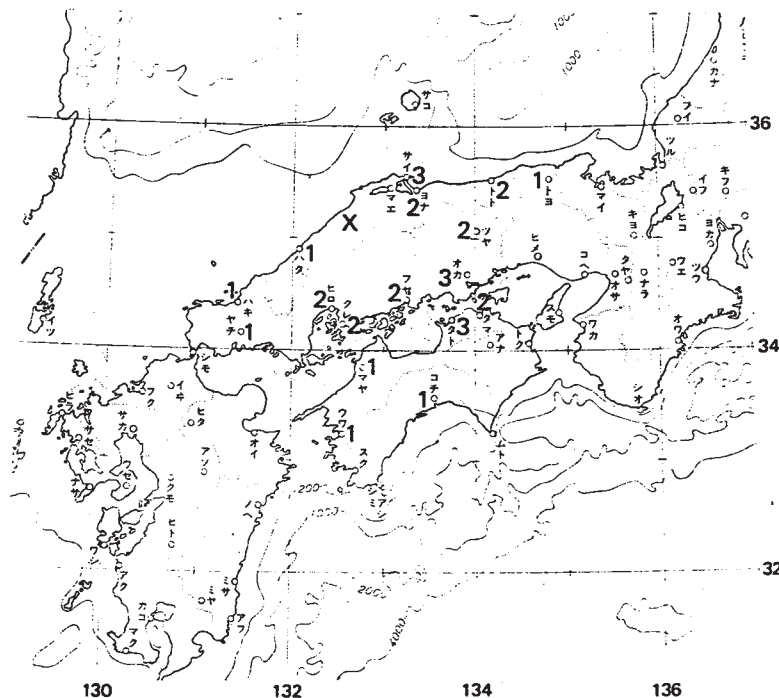
5-3 1977年5月2日島根県中部の地震について

The Earthquake of May 2, 1977 in the Central Part of Shimane Prefecture

気象庁地震課，地震活動検測センター
SAMC, Seismological Division, Japan Meteorological Agency

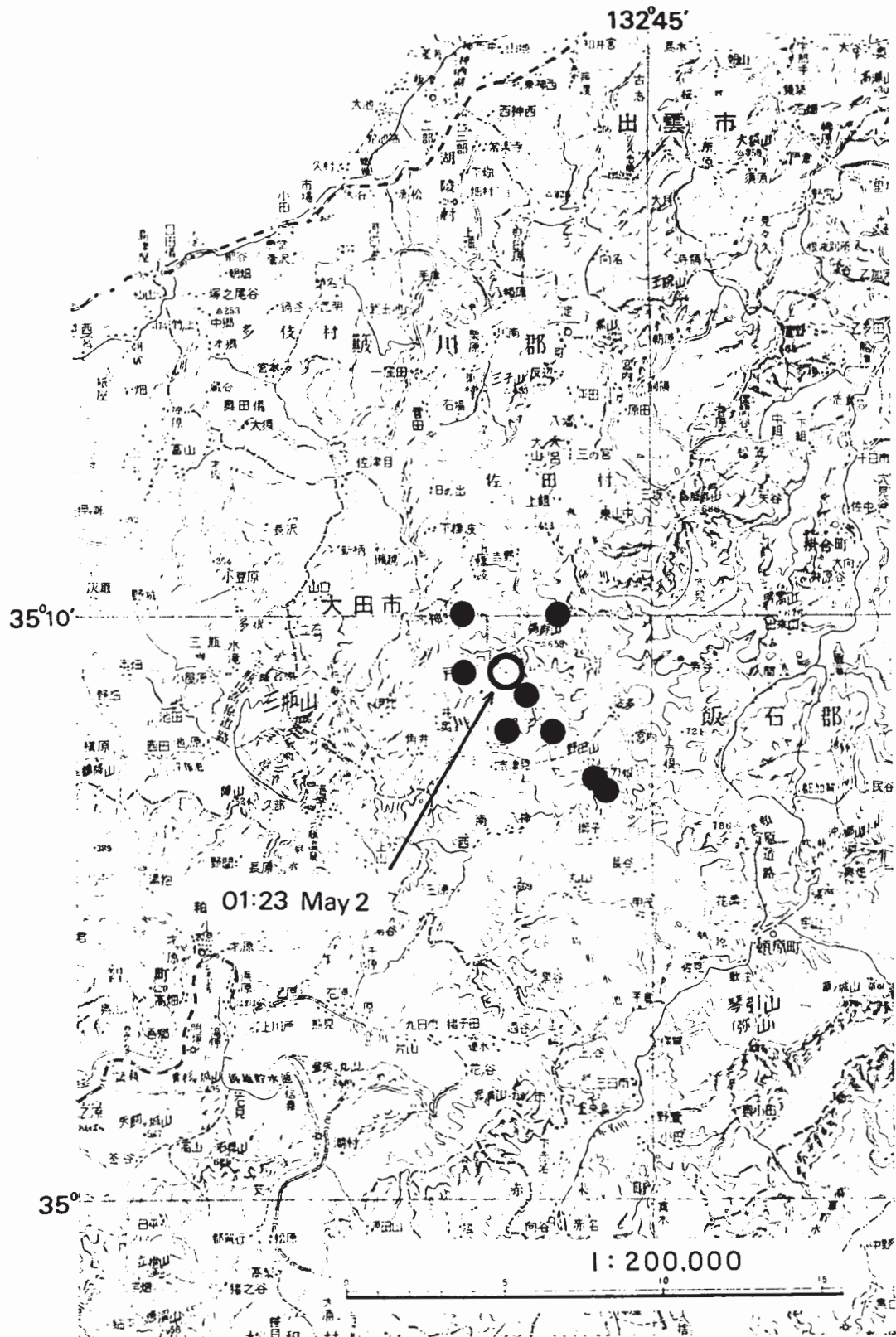
5月2日01時23分に島根県中部の三瓶山東方の東経132°42′，北緯35°09′にM5.3，震源の深さ10kmの地震が発生した。震度分布はFig. 1，余震の分布はFig. 2となっているが，震央付近では局地的に震度ⅣないしⅤと推定され，三瓶山東方の頓原町，赤来町，掛合町等の一部では壁の亀裂，道路や石垣の破損，墓石の転倒など多少の被害が発生した。

島根県中部ではFig. 3のようにM5程度の地震は時々発生しており，今回の震源地と殆んど同じ三瓶山麓には1950年8月22日にM5.3， $h = 30$ kmの地震が発生している。この時も，震源地付近では局地的に崖崩れや壁の亀裂，墓石の転倒などがあつた。また余震も震源地付近では有感地震が約1か月間継続的に発生した。



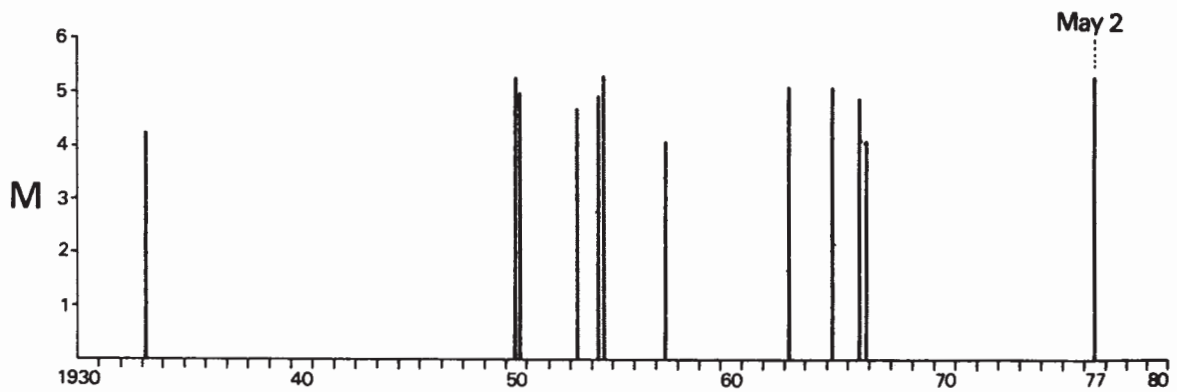
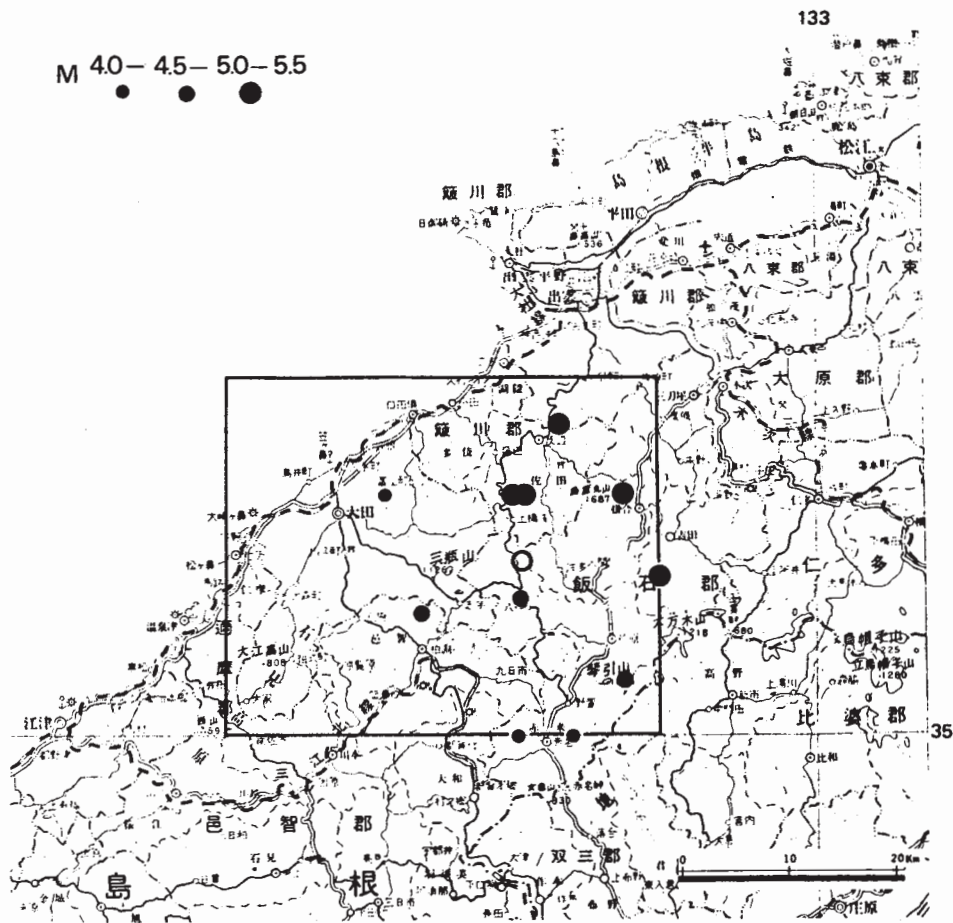
第1図 震度分布

Fig. 1 Distribution of seismic intensities (01^h23^m May 2, 1977).



第 2 図 余震分布

Fig. 2 Distribution of aftershocks
 ○ Mainshock



第3図 震央付近の過去の地震活動

Fig. 3 Seismic activity near source region ($N35.0^{\circ}-35.3^{\circ}$, $E132.4^{\circ}-132.8^{\circ}$), (1930-1977).